

# FX 最強ペア・USD/HKD のスワップで月 60 万円！

～ USD/HKD の最適購入枚数の算出方法 ～

- ほんのちょっとだけ勉強する気のある人だけに送る、資産1億円への道 -

## 【著作権について】

本マニュアルは、著作権法により、保護されています。

内容の一部または全てにおいて、無断転載、無断配布、引用、CDにコピー、掲示板に書き込む等の行為は、一切禁止とします。

## 【免責事項】

本マニュアルは、これまでの経験を基に作成したもので、利益を保証するものではありません。

本マニュアルにより、いかなる損害が発生いたしましても、一切責任を負うことはできませんので、ご了承ください。

はじめまして。私は、FXの最強通貨ペア、[『USD/HKDに全財産を賭して億万長者!』というブログ](#)を主催しており、実際に1日20,000円以上、月60万円以上の不労所得を得ている、HKD売り専と申します。

いきなりですが、あらかじめお断りしておきます。**このレポートを理解するには、ほんのちょっとだけ気合がいらいます。**

巷には、「何もしないで〇千万円!」「ボタンを押すだけで月〇〇万!」等の甘い言葉で誘う無料レポートがあふれています。ですがその実は、単なる他のレポートの焼き直しや、実用性のない夢物語を語っているに過ぎないレポートがほとんどです。

冷静になって考えてみてください。

**何もしないで儲けられるなら、国民全員が億万長者**

だとは思いませんか?

今回私は、そのような無意味な言葉で誘い寄せるレポートとは一線を画した、実用的なレポートを作成しました。

ですから、この無料レポートの隠れ副題は、「ほんのちょっとだけ勉強する気のある人だけに送る、資産1億円への道」なのです。（なぜ「資産1億円」なのかは後述します）

前置きが長くなりました。では、まずはじめに、「USD/HKDに投資する」とは何か、その中身から簡単にご説明いたします。（詳細は、[当ブログ『USD/HKDに全財産を賭して億万長者!』](#)をご覧ください）

USD（米ドル）/HKD（香港ドル）は、今流行のFX（外国為替証拠金取引）の取引通貨ペア一つです。

しかし、普通の外貨預金のように日本円（JPY）で米ドル（USD）を買うのではなく、香港ドル（HKD）を売って、米ドル（USD）を買うのです。

USDとHKDの為替レートはほぼ連動しており、為替変動率が極めて低い「ペッグ制」を採用している特殊な通貨ペアです。その低ボラティリティの特質を利用して、ハイレバレッジで投資するのが、私の実践している投資方法なのです。

もっとわかりやすく言えば、レート変動の限られているUSD/HKDにたくさん投資して、安全に、安定的にスワップ（金利）をたくさんもらっちゃいましょう、ということです。

私の USD/HKD 投資法は基本的に簡単です。買って放置するだけなので  
すから。

ただし、1点だけ注意しなければならない点があります。それは、その最  
初の買う時に、「USD/HKD をどれだけ購入するか」という点です。

なぜなら、USD/HKD の最適購入枚数がわからなければ、月 60 万円以上  
の不労所得どころか、極めて小さい幅ながらもレートが変動する USD/HKD  
の為替差損によって、貴重な原資を一切失うリスクに直面することになるか  
らです。

逆に言えば、この USD/HKD の最適購入枚数さえマスターできれば、リ  
スク管理が可能になり、夢の不労所得が手に入る こと になります。

そこで今回は、『FX 最強ペア USD/HKD のスワップで月 60 万円！』  
と題して、USD/HKD に投資して月 60 万円を得る為に必要不可欠な知識と  
して、USD/HKD の最適購入枚数の算出方法を無料レポートで作成すること  
にいたしました。

当初はブログで質問にお答えする為に原稿を作っていたのですが、書いて  
いるうちに分量的に掲載不可能だと思いうようになり、レポートの形をとらせ  
ていただく こと になりました。

では、USD/HKD の最適購入枚数の算出方法に入りましょう。

最適購入枚数を出す際に、まず考えなければならないのは、最悪の場合、USD/HKD のレートはどこまで下がるのだろうか?という点です。

これについては、香港政府により、7.75 を下限、7.85 を上限としたレート保証がなされています。

・・・ということは、香港政府を信じるのであれば、7.75 未満はありえない、ということになります。

したがって、私自身は、7.75 にちょっと余裕を持って、7.7485 位まで耐えられる（ロスカットされない）ように仮定下限レートを設定しています。

ただ、仮定下限レートについては、別の考え方もあります。後述します。

では、実際に仮定下限レートを 7.7485 に設定して、具体例を使って、最適購入枚数の割り出し方を 4 段階に分けて順を追って解説しましょう。

理解するが大変そうに見えるかもしれませんが、そんなことはありません。必要な数学のレベルは、小学校で学んだ加減乗除と中 1 で学んだ代入・一次

方程式までです。

この計算を理解できれば、USD/HKD以外のFX通貨にも応用できますので、是非マスターしてください。

では、はじめましょう。

### 【前提条件】

購入原資		100万円
想定	USD/JPYレート	120.00
購入時	USD/HKDレート	7.8130
仮定下限	USD/HKDレート	7.7485
最大レバレッジ		400倍

(本文中では上記を代入すべきところに下線\_\_\_\_を引いていきます。)

#### ① 許容下落率を求める

まず、購入時USD/HKDレートから仮定下限USD/HKDレートまでどの程度余裕があるのかを率として算定します。

許容下落率は『 $1 - \frac{\text{仮定下限 USD/HKD レート}}{\text{購入時 USD/HKD レート}}$ 』の計算式で導かれますので、

$$1 - 7.7485 \div 7.8130 = 0.00825547164981444 \dots\dots \textcircled{1}'$$

で、約0.8255%が許容下落率となります。

## ② USD/HKD1枚あたりの日本円換算を求める

次に、USD/HKDでのロスカット基準を計算する為の前段階として、1枚あたりの日本円での持高を計算します。

これは、ロスカットの基準は、あくまで証拠金の通貨である日本円で計算されますので、基軸通貨であるUSDを日本円で換算する為に必要になります。

計算式は、『 想定 USD/JPY レート × 10,000 』ですので、

$$120 \text{ 円} \times 10,000 \text{ 通貨} = 1,200,000 \text{ 円} \dots\dots \textcircled{2}'$$

で、1,200,000円がUSD/HKD 1枚あたりの日本円換算となります。

## ③ USD/HKD1枚あたりの必要証拠金（ロスカット基準）を算定



次に、1枚あたりの必要証拠金（ロスカット基準）を求めます。これは、仮定下限レートまで下落しても、なお確保しなければならない余裕金額になります。

計算式は、『 ②'（1枚あたりの日本円換算） / 最大レバレッジ 』  
で求められますので、

$$1,200,000 \text{ 円} \div 400 \text{ 倍} = 3,000 \text{ 円} \quad \dots \dots \text{ ③'}$$

で、**3,000円**が1枚あたりの必要証拠金となります。

#### ④ 許容枚数を算定する。

さて、最後に最終目的である許容枚数（最適購入枚数）を求めます。

『 **許容枚数** × { ②'（1枚あたりの日本円換算） × ①'（許容下落率） + ③'（1枚あたりの必要証拠金） } < 購入原資 』  
という算式が成り立つので、それぞれ代入して、

$$\text{許容枚数} \times \{ 1,200,000 \text{ 円} \times 0.8255\% + 3,000 \text{ 円} \} < 1,000,000 \text{ 円}$$

$$\text{許容枚数} < 1,000,000 \text{ 円} / ( 9906 \text{ 円} + 3,000 \text{ 円} )$$

$$\text{許容枚数} < 77.483 \text{ 枚}$$

となります。ちなみに、{}の中で求めているのは、USD/HKD 1枚あたりの最大損害額を日本円換算した金額となります。それに購入枚数を掛けたものが、購入原資以上になってしまわなければ安全、という考え方です。

こうして、今回の【前提条件】に限って言えば、購入原資100万円あたりの購入許容枚数は77枚が最適であることが求められます。

(計算終)

・・・なにやら本当に算数の授業のようになってしまいましたが、ご理解いただけましたでしょうか？

例え一度で理解できなくても、下線部\_\_\_\_に数字を代入していけば、答えは出ますので、【前提条件】を変えて色々試してみると、わかってくるかと思えます。

これはあくまで理論上の計算です。想定USD/JPYのレートは、レート

の変動分を考慮して、余裕を見て計算された方がいいでしょう。そうすれば、必要証拠金にも余裕が出てきます。USD/JPY レートは、余裕を見るのであれば高めに見積もる必要があります。（例えば、130 円に設定する等）

そして、一連の計算の中で投資者の意向が反映される**最も重要なポイント**は、**仮定下限レート**です。

今回の計算では 7.7485 としましたが、香港政府を信じられない方、ヘッジファンド攻撃の再来を予測する方などは、もっと余裕を見るべきです。

7.5~7.3 位を仮定下限レートであればより安全です。前回の通貨危機の時（ただし、当時と今では通貨制度が若干異なる）のレートまで落ちても耐えられます。

ただし、当然のことながら、リスクは減りますが、投資効率も著しく落ちてしまいます。

私は、「**少なくともあと5年はペッグ制を維持する**」と断言する曾蔭権・香港特別行政区行政長官とその背後にいる中国政府を信じて、7.7485 を仮定下限レートとして全財産を賭しています。

そういう意味で、投資する側の香港情勢の読み方、およびそれに基づくリスクのとり方がUSD/HKDの最適購入枚数を決めると言えるでしょう。

さて、これでUSD/HKDの最適購入枚数の算出方法は終了です。

「ちょっと待て、月60万円はわかった。でも隠れ副題の【資産1億円】はどうした？」と言われるかもしれません。

実は、今回算定した枚数を維持してリスク管理しながら、得られたスワップを再投入して複利効果を最大限に活かしていくと、「資産1億円」が本当に見えてきます。しかも（ペッグ制が維持されるであろう）5年で。

その辺の仕組みは、[メルマガ（FX最強ペア・USD/HKDのスワップで月60万円！）](#)で配信していく予定ですので、ご登録の上、少々お待ちください。

今回は少々長い計算が入ってしまった為、長文となってしまいました。お疲れ様でした。

Produced by

HKD 売り専